

【FdData 中間期末：中学社会地理：北海道】

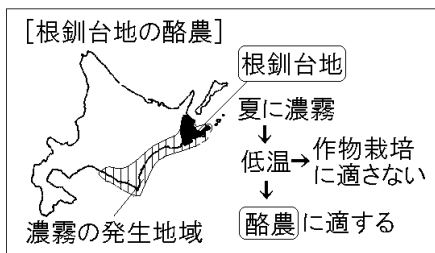
【北海道の農業：酪農】

【問題】(後期期末)

根釧台地ではどのような農業がさかんか。

【解答】酪農

【解説】



根釧台地とその周辺は、火山灰地で土地がやせているうえ、春から夏は濃霧で日照時間が短く夏でも気温があまり上がらないため、作物の栽培には適していない。逆にこのすずしさを生かして、酪農を発展させてきた。(乳牛は、食べた飼料を胃で分解して大量の乳をつくる。そのとき、大量の熱が発生するので、乳牛は多少の寒さには強いが、夏の暑さに対しては非常に弱い家畜である。) 十

勝平野では畑作とともに、酪農もさかんである。
酪農と畑作を合わせた混合農業も行われている。

[問題](後期中間)

北海道の根釧台地は農作物が育たないため、牧草地での酪農がさかんである。これについて、次の各問いに答えよ。



- (1) 根釧台地の位置を地図中のア～エから選べ。
- (2) 根釧台地で農作物が育たない理由を下から選べ。
 - あ 冬に流氷が接近してくるから。
 - い 夏にやませが吹き込むから。
 - う 夏にフェーン現象が起こりやすいから。
 - え 夏にたびたび濃霧が発生し、気温が上がらないから。

[解答](1) ア (2) え

[問題](3 学期)

次の略地図のXの場所で発生するものをふまえて、根釧台地の農業の特色を説明せよ



[解答]根釧台地は夏でも海から濃霧が流れこみ低温になるため、作物の栽培には適していない。逆にこのすずしさを生かして、酪農を発展させてきた。

[問題](3 学期)

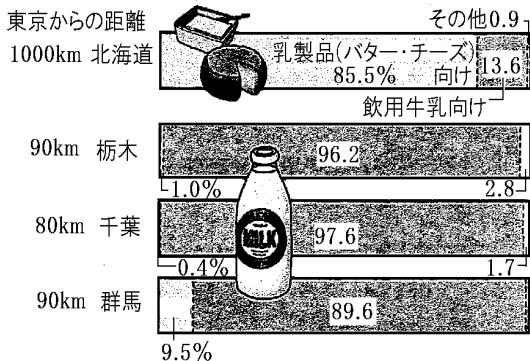
北海道では、どうして大規模な酪農がさかんなのか。「気候」「土地」という語句を使って答えよ。

[解答]北海道は夏のすずしい気候が酪農に適しており、また、広い土地を牧草地として活用できるため。

[問題](2 学期期末)

生乳の使いみちに関する次の資料を見て、なぜ北海道では乳製品の割合が高いのか説明せよ。

生乳の使いみち



[解答]東京などの大消費地から遠いため。

[解説]

にゅうぎゅう
乳牛は寒い気候に適しているため、北海道の乳牛の頭数は全国の約 5 割を占めている。

[生乳の用途]
大消費地から遠い
↓
バターやチーズに加工

しかし、東京などの大消費地から遠いため、生産された生乳の 8 割以上は乳製品の工場に運ばれ、おもにバターやチーズに加工されて、全国に出荷されている。(北海道以外の地域では生乳の 9 割近

くが飲用として消費される) 北海道では、地元で生産されたあずき、砂糖、たまごなどと、大規模な酪農によって生産された牛乳やバターを使った菓子の製造もさかんである。

[問題](3 学期)

北海道では、生乳の大部分がバターやチーズなどの乳製品に加工されている。それはなぜか。

[解答]東京などの大消費地から遠いため。

[問題](3 学期)

北海道では加工用に出荷される生乳が多いが、それはなぜか。誤っているものを1つ選び記号で答えよ。

- ア 飲用だけでは新鮮なうちに消費しきれないから。
- イ 消費地が遠いため、飲用では輸送が難しいから。
- ウ 生乳として使われるミルクを出す乳牛が少ないから。
- エ 乳製品と地元で生産される農産物などを使った菓子の製造がさかんだから。

[解答]ウ

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com